



ゆり組だより 2月号



令和4年2月18日 こじつ保育園 担当:熊澤

例年と比べ、今年は、雪が降るほど寒いです。子ども達は、とても嬉しそうです。

先日、体操をしていたときの出来事です。目の前に白い何かがかう付き始め、見上げると雪でした。丸くあられ状でしたので、指や服に付いてもすくりに溶けず子ども達も「見て見て」「○○くんの洋服にたくさん付いているね。」と、短い時間でしたが、おおはしゃぎでした。保育者が「風邪をひいてしまったら大変だから、戻ろうね。」と声を掛けると、「もうかき遊びたいけど、熱が出たら、保育園来れなくなっちゃうもんね。」と素直に受け入れられました。

また、製作で自画像を描きました。クレヨンではなく、絵の具を使用してみました。筆の扱いを、「はみ出しちゃうからね。」と難しくしていました。同じ方向に塗るというコツを掴んでから、「これ、楽しいね。」「もうやりたい。」と、とても意欲的に行っていました。そして一人一人の個性あふれる作品が出来ました。

さて、いよいよ就学が、近づいてきました。卒園に向け、保育園の荷物や身支度を子ども達と一緒に行ない、自分で準備が出来るよう働き掛けています。自分で、出来ることをたくさん、見つけてあげてください。

